

うちどく 家読

家族みんなで読書をしよう! 【家読推進プロジェクト推薦】

おすすめ絵本 10

家読 keyword

東日本大震災を忘れない—いのちの絵本



ハナミズキのみち

東日本大震災で家族との思い出が つまった海に命を奪われた少年。悲しみに暮れる母に少年の祈りの声が届く。みんなが二度と悲しまないように避難路にハナミズキを植えてと…。津波でわが子を亡くした母の切なる思いが一冊の絵本に。

浅沼ミキ子 文 / 黒井 健 絵
初版:2013年5月
ISBN978-4-323-07258-6
定価(本体1,300円+税)



かぜのでんわ

山の上に置かれた電話。だれもが自由に使えて、今はそばにいない人と話すことができます。でも実はそれは電話線のつながっていない電話でした。岩手県大槌町に東日本大震災のあと設置された風の電話ボックスをモデルにした絵本。

いもとようこ 作絵
初版:2014年2月
ISBN978-4-323-02451-6
定価(本体1,400円+税)

家読 keyword 戦争と平和について考えよう



絵本 おこりじぞう

山口勇子 原作
沼田曜一 語り文
四国五郎 絵
1945年8月6日。広島町の角に立つわらいじぞうが見たものは、まるで太陽が落ちてきたとしかいいようのない光景だったのです…。作家と語り部と画家が悲しみと怒りをこめて描く入魂の絵本。

初版:1979年11月
定価(本体1,200円+税)

家読 keyword “あたりまえ”のこを見つめてみる



おうち

中川ひろたか 作
岡本よしろう 絵

人はおうちに帰る。なぜ帰るんだろう。ごはんが食べられないから? お風呂に入れないから? 眠れないから? 犬や鳩やミツバチもおうちに帰る。すごく不思議。おうちにいると安心する。おうちについて深く考える絵本。

初版:2018年5月
定価(本体1,300円+税)

家読 keyword 相手の気持ち、心の奥を理解する



くまのこうちょうせんせい

こんのひとみ 作
いもとようこ 絵
小さな声でしかあいさつができないひつじ君。校長先生は「いつか大きな声でおはようが言えるようになるよ」と励ましてくれた。ある日、校長先生が入院することになり…。いのちの輝きが見えてくる実話から生まれた物語。

初版:2004年6月
定価(本体1,200円+税)

家読 keyword 感謝の思いを言葉にしよう



おかあさんありがとう

みやにし たつや 作・絵

熱が出たとき、寝ないで看病してくれたら、運動会でピリになっても「がんばったね」って、ぎゅーとしてくれたら。おかあさん、いつもありがとう。ほくが産まれたときのことをおとうさんが教えてくれたよ。

初版:2019年7月
定価(本体1,300円+税)

家読 keyword 消防署の仕事を学ぼう!



しゅつどう! しょうぼうたい

鎌田 歩 作・絵

消防署ではたらくお父さんの一日を追いながら、消防士の仕事や職場、災害現場の様子などを知る絵本。ページを広げると幅77cmの消火シーンや、緊迫感あふれるレスキューシーンなど、見ごたえのある一冊!

初版:2019年2月
定価(本体1,300円+税)

家読 keyword 「じりつ」ってどんなこと?



しげちゃんとじりつさん

室井 滋 作
長谷川義史 絵

しげちゃんは甘えん坊で怖がり。バアちゃんと一緒に寝て、首からお守りを下げている。成績表に「自立を」って書かれ、お母さんは今夜から一人で寝なさい! って…。ちょっと怖くて楽しいユーモア絵本。

初版:2016年7月
定価(本体1,300円+税)

家読 keyword 思いやりいっぱい的心を持とう



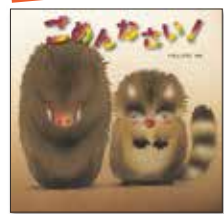
にじいろのしまうま

こやま峰子 作
やなせたかし 絵

森のおくで、きれいなにじいろのしまうまが生まれました。みんなは大喜び。ところが、雨のふらない日がつづいて川の水がなくなってしまう。なかまたちのためににじいろのしまうまは祈りました。すると…。

初版:1996年5月
定価(本体1,200円+税)

家読 keyword “あやまる” “ゆるす”って大事だね



ごめんなさい!

いもとようこ 作・絵

おばあちゃんが植えた、おいもの苗。どんどん大きくなったのに、ある晩、畑が荒らされ、すっかりなくなっていました。翌年、畑に行かなくなったおばあちゃんの家に、いのししとあらいくまが訪ねてきます。

初版:2019年9月
定価(本体1,400円+税)

【家読推進プロジェクト】

全国の「家読」情報満載!

「うちどく.com」

<http://uchidoku.com/>



「家読」
または
「うちどく」
で 検索